

- 問1 4世紀から7世紀にかけて近畿地方を中心に勢力を広げた勢力を何という？
- 問2 5世紀後半にヤマト政権の最高権力者が用いた称号を何という？
- 問3 6世紀半ばに、日本の欽明天皇へ仏像や経典を贈り、仏教を公式に伝えた百済の王は誰？
- 問4 世界遺産にも登録されている、日本最大規模の大仙古墳が位置する都市はどこ？
- 問5 ヤマト王権の支配力が拡大する中、全国に広まった巨大な墳墓の形を何という？
- 問6 中国の歴史書『宋書』に記されている、ワカタケル大王（雄略天皇）と同一人物と考えられる王を何という？
- 問7 5世紀ごろ、日本へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々が由来した朝鮮半島の国家を何という？
- 問8 埼玉県行田市の埼玉古墳群のひとつで、金象嵌の銘文が刻まれた鉄剣が出土したことで知られる古墳は何という？
- 問9 5世紀ごろ、渡来人によって大陸から日本へもたらされた、記録を可能にする文字体系を何という？
- 問10 3世紀後半から奈良盆地を中心に広がり、各地の豪族を従えて日本列島の広範囲に勢力を及ぼした政治連合は何という？
- 問11 5世紀ごろ、日本に漢字や経典を伝えたと言われる、百済から来た人物は誰？
- 問12 仏教を深く信仰し、政治や文化に取り入れることで、新しい文明の定着に努めた人物は誰？
- 問13 6世紀、百済から日本へ正式に伝えられ、日本の政治や文化に大きな影響を与えた宗教を何という？
- 問14 日本各地で首長の墓が作られ、広い範囲で勢力を広げていた当時の政治的なまとまりを何という？
- 問15 稲荷山古墳などの出土品に名前が刻まれ、その支配が九州から関東まで及んでいたと言われる大王は誰？
- 問16 古墳の内部に死者の権威を示すために納められた鏡などの品々を何という？
- 問17 円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形をしている、古墳時代に作られた日本最大規模の墓を何という？
- 問18 6世紀、日本への仏教伝来に際して、その導入に賛成した有力な豪族は誰？
- 問19 中国から軍事的な指揮権を認められ、国内での権力強化を図った王たちの総称を何という？
- 問20 埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣に、その名が刻まれているヤマト王権の最高権力者は誰？